

直線と平面のパラメタ表示・ベクトル方程式

樋口さぶろお <https://hig3.net>

龍谷大学 先端理工学部 数理・情報科学課程

線形代数☆演習 I L04(2022-04-20 Wed)

最終更新: Time-stamp: "2022-04-20 Wed 07:13 JST hig"

今日の目標

- 直線, 平面のパラメタ表示が説明できる
- 法線ベクトルを用いた直線, 平面の方程式が説明できる



Quiz 解答: スカラー 3 重積

- ① $\mathbf{b} \times \mathbf{c} = \begin{bmatrix} +2 \\ 0 \\ -2 \end{bmatrix}$. 面積は, $|\mathbf{b} \times \mathbf{c}| = \sqrt{2^2 + 0^2 + (-2)^2} = \sqrt{8}$.
- ② スカラー 3 重積 $\mathbf{a} \cdot (\mathbf{b} \times \mathbf{c}) = \begin{bmatrix} 0 \\ 0 \\ 1 \end{bmatrix} \cdot \begin{bmatrix} +2 \\ 0 \\ -2 \end{bmatrix} = 0 \cdot 2 + 0 \cdot 0 + 1 \cdot (-2) = -2$
 よって体積はその絶対値 $|-2| = 2$.
- ③ スカラー 3 重積の値が負だから, 左手.

L03-Q1

Quiz 解答: ベクトルとスカラーの演算

- ① へん
- ② スカラー
- ③ ベクトル
- ④ スカラー
- ⑤ ベクトル

L03-Q2

Quiz 解答: ベクトルの外積

- ① $\langle \vec{OC}, \vec{OA}, \vec{OB} \rangle$ は右手系. 回転後の $\langle \vec{O'C'}, \vec{O'A'}, \vec{O'B'} \rangle$ も右手系.
 よって, 求める向きのベクトルは $\mathbf{w} = \vec{O'C'} \times \vec{O'A'} = \begin{bmatrix} -1 \\ -3 \\ 10 \end{bmatrix}$. 同じ向きの単位ベクトルを求めると, $\mathbf{u} = \frac{1}{|\mathbf{w}|} \mathbf{w} = \frac{1}{\sqrt{110}} \begin{bmatrix} -1 \\ -3 \\ 10 \end{bmatrix}$.

ここまで来たよ

3 スカラー 3 重積

4 直線と平面のパラメタ表示・ベクトル方程式

- 直線のパラメタ表示と方程式
- 平面のパラメタ表示と方程式

空間内または平面内の直線のパラメタ表示

c を通り, $a(\neq 0)$ に平行な直線のパラメタ表示 (媒介変数表示)

$$x - c = at$$

$$\text{すなわち } x = at + c \quad (t \text{ はパラメタ})$$

- チェック 1 c を通る
- チェック 2 a に平行である

GeoGebra(動的幾何ソフトウェア, Web アプリ)

2D

<https://www.geogebra.org/m/skj88vSN>

3D

<https://www.geogebra.org/m/KYg7AZ7M>



(平面内の) 直線の方程式

直線と垂直なベクトル (1 つとは限らない, $\neq \mathbf{0}$) を, 直線の法 (線) ベクトル, **normal vector** という. 直線の向き \mathbf{a} を $\pm \frac{\pi}{2}$ 回転して得られる.

\mathbf{c} を通り, 法線ベクトル $\mathbf{n} (\neq \mathbf{0})$ と垂直な直線の方程式

$$(\mathbf{x} - \mathbf{c}) \cdot \mathbf{n} = 0.$$

- チェック 1 \mathbf{c} を通る
- チェック 2 \mathbf{n} に垂直である

$\mathbf{c} \cdot \mathbf{n} = C$ (実数の定数) とおくと,

$$\mathbf{x} \cdot \mathbf{n} = C \quad (C \text{ は定数})$$

とも書ける. $\mathbf{x} = \begin{bmatrix} x \\ y \end{bmatrix}$, $\mathbf{n} = \begin{bmatrix} a \\ b \end{bmatrix}$ として成分で書くと,

$$ax + by = C.$$

<https://www.geogebra.org/m/bxNHWG6P>



L04-Q1

Quiz(直線の方程式)

- ① ベクトル $\boldsymbol{p} = \begin{bmatrix} 3 \\ 1 \end{bmatrix}$ に平行で, 点 $\boldsymbol{r}_0 = \begin{bmatrix} 5 \\ 7 \end{bmatrix}$ を通る直線のパラメタ表示と平面の方程式を求めよう.
- ② ベクトル $\boldsymbol{q} = \begin{bmatrix} 3 \\ 1 \end{bmatrix}$ に垂直で, 点 $\boldsymbol{r}_0 = \begin{bmatrix} 3 \\ 13 \end{bmatrix}$ を通る直線のパラメタ表示と平面の方程式を求めよう.

直線を境界とする半平面の式

直線は平面を 2 つの半平面に分割する. 各半平面は不等式で指定される.

$$\boldsymbol{n} \text{ と同じ側} \quad (\boldsymbol{x} - \boldsymbol{c}) \cdot \boldsymbol{n} > 0$$

$$\boldsymbol{n} \text{ と逆の側} \quad (\boldsymbol{x} - \boldsymbol{c}) \cdot \boldsymbol{n} < 0$$

ここまで来たよ

3 スカラー 3 重積

4 直線と平面のパラメタ表示・ベクトル方程式

- 直線のパラメタ表示と方程式
- 平面のパラメタ表示と方程式

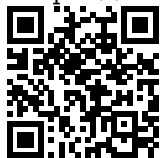
(空間の中の) 平面のパラメタ表示

c を通り, a, b に平行な平面のパラメタ表示

$$x - c = at + bs$$

すなわち $x = at + bs + c$ (t, s はパラメタ), $a, b \neq 0$, a, b は平行でない)

<https://www.geogebra.org/m/YHmGKuJN>



(空間の中の) 平面の方程式

平面と垂直なベクトル (1 つとは限らない, $\neq \mathbf{0}$) を, 平面の法 (線) ベクトル **normal vector** という. 平面に平行な (しかし互いに平行ではない) 2 つのベクトル \mathbf{a}, \mathbf{b} から外積 $\mathbf{a} \times \mathbf{b}$ で得られる.

\mathbf{c} を通り, $\mathbf{n} (\neq \mathbf{0})$ に垂直な平面の方程式

$$(\mathbf{x} - \mathbf{c}) \cdot \mathbf{n} = 0$$

$\mathbf{c} \cdot \mathbf{n} = C$ とおくと,

$$\mathbf{x} \cdot \mathbf{n} = C$$

$\mathbf{n} = \begin{bmatrix} a \\ b \\ c \end{bmatrix}$ としてこの方程式を成分で書くと,

$$ax + by + cz = C.$$

<https://www.geogebra.org/m/v2TedmJ2>



L04-Q2

Quiz(平面のパラメタ表示と方程式)

$c = \begin{bmatrix} 13 \\ 2 \\ 1 \end{bmatrix}$ を通り, ベクトル $a = \begin{bmatrix} 0 \\ 1 \\ 3 \end{bmatrix}$, $b = \begin{bmatrix} 0 \\ 5 \\ 2 \end{bmatrix}$ を含む平面を考える.

- ① パラメタ表示を求めよう
- ② 方程式を求めよう
- ③ 点 $\begin{bmatrix} 13 \\ 9 \\ 9 \end{bmatrix}$, $\begin{bmatrix} 1 \\ 1 \\ 3 \end{bmatrix}$ はそれぞれ平面に含まれるか調べよう.

平面を境界とする半空間の式

平面は空間を 2 つの半空間に分割する. 各半空間は不等式で指定される.

$$\mathbf{n} \text{ と同じ側} \quad (\mathbf{x} - \mathbf{c}) \cdot \mathbf{n} > 0$$

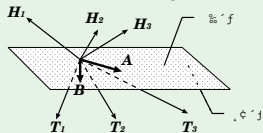
$$\mathbf{n} \text{ と逆の側} \quad (\mathbf{x} - \mathbf{c}) \cdot \mathbf{n} < 0$$

平面の中の直線, 空間の中の平面が同じ式で扱えることに気づいただけろう. これは, どちらも 1 次元減った,, 1 次式で書ける集合 (超平面という) だという共通点があるから.

L04-Q3

Quiz(空間内の平面の分ける半空間)

ベクトル $\mathbf{a} = \begin{bmatrix} +1 \\ -2 \\ 0 \end{bmatrix}$, $\mathbf{b} = \begin{bmatrix} 1 \\ 2 \\ 3 \end{bmatrix}$ とする.



- ① $|\mathbf{b}|$ を求めよう.
- ② $\mathbf{a} \cdot \mathbf{b}$ を求めよう.
- ③ $\mathbf{a} \times \mathbf{b}$ を求めよう.
- ④ $\mathbf{b} \times (\mathbf{b} - 2\mathbf{a})$ を求めよう.
- ⑤ 原点 $\mathbf{0}$ を通り, ベクトル \mathbf{a}, \mathbf{b} の両方がのる平面は 1 つに定まる. (図では薄く塗られている. それは xy 平面とは異なる). 図は, その平面を斜めから見たものである. ベクトルがこの平面の表裏どちら側を向いているかについて, $\mathbf{H}_1, \mathbf{H}_2, \mathbf{H}_3$ のようなベクトルを表向き, $\mathbf{T}_1, \mathbf{T}_2, \mathbf{T}_3$ のようなベクトルを裏向きということにする. $\mathbf{c} = \begin{bmatrix} 0 \\ 6 \\ 1 \end{bmatrix}$ が表向きか裏向きか考えよう.